

# 六甲山ホテル 旧館営業再開 改修後、来春にも

年春から夏、本館は19年の再開を目指す。ホテル名も変更する。

着工時期や費用は未定。年明けから具体的な計画を詰める。旧館はホテルやレストランとしての利用を視野に入れ、本館は建て替える可能性もある。チャペルも改修し、敷地内に温泉施設や多目的ホールを設ける計画もあるという。

同ホテルは宝塚ホテル（宝塚市）の別館として開業。近年は減収傾向で、昨年10月、阪急阪神ホールデ

六甲山上の老舗ホテル「六甲山ホテル」（神戸市灘区）で1929（昭和4）年の開業時から残る旧館が来春にも営業を再開する。阪神間モダニズムを代表する建築物。老朽化で2015年12月に閉館し、本館で営業していたが、ファンらの声に応え、所有する八光自動車工業（大阪市）が再利用を決めた。

同ホテルは今年末でいったん営業を終了。木造地上2階と地下1階の旧館（客室数25室）と、鉄筋コンクリート造り7階建ての本館（45室）で耐震補強などの改修工事を行う。旧館は18

イングスの傘下で運営する阪急阪神ホテルズ（大阪市）が八光自動車工業に売却していた。

（網嶋葉名）



来春にも営業を再開する六甲山ホテル旧館。経済産業省の近代化産業遺産に認定されている＝神戸市灘区六甲山町南六甲